



学校だより

<https://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/yabe/>

令和 8年 4月 30日

5月号

横浜市立矢部小学校
校長 内山 聖司

出会いからつながりへ

副校長 岡本 亜希子

新緑がまぶしく、さわやかな風を感じる季節となりました。校庭の木々も生き生きと葉を広げ、子どもたちの元気な声が学校中にあふれています。4月に本校へ着任してから一か月が過ぎましたが、日々の教育活動を通して、この学校が地域・保護者の皆様に大切に支えられてきたことを強く実感しております。

4月は、子どもたちにとって「出会い」と「始まり」の月でした。新しい学級、新しい友達、新しい先生との関わりの中で、期待と同時に戸惑いや緊張を感じていた子どもも少なくなかったことと思います。そのような中でも、朝のあいさつを交わす姿、友達と声をかけ合いながら活動する姿、授業に真剣に取り組む姿などから、子どもたちが一步一步、新しい学校生活に慣れてきている様子がうかがえます。

本校の学校教育目標は「ふれあう ためす つくりだす やべっ子 きらきら かがやこう」です。これは、子どもたちが人とつながり（ふれあう）、失敗を恐れず挑戦し（ためす）、その経験を通して新しい自分を創り出していく（つくりだす）ことを大切にする姿を表しています。学校の中だけでなく、地域や社会との関わりの中でこそ、この目標はより豊かなものになると考えています。

着任して間もない中でも、登下校を見守ってくださる地域の方々や、学校行事や学習活動に力を貸してくださる地域の皆様の存在が、子どもたちにとって大きな安心と学びにつながっていることを感じています。地域の中であたたかく見守られ、声をかけてもらう経験は、子どもたちに、人やまちと「つながる喜び」や「自分も誰かの役に立ちたい」という思いを育ててくれます。

5月は、学校生活に慣れ始める一方で、心や体の疲れが出やすい時期でもあります。学校では、子どもたち一人ひとりの様子を丁寧に見取り、安心してチャレンジできる環境づくりを大切にまいります。ご家庭や地域の皆様と連携しながら、子どもたちが自分らしく輝けるよう、共に支えていくことができれば幸いです。

これからも、学校・家庭・地域が手を取り合い、子どもたちの成長を見守り続けていきたいと考えております。今後とも、本校の教育活動へのご理解とご協力を、どうぞよろしくお願いいたします。